

このリストは、^{としょかん}図書館の^{しよくいん}職員が、^{ねんせい}3・4年生のみなさんに
^よ読んでほしい本を^{ほん}選んだものです。

しながわとしょかん 品川図書館	きたしながわ 北品川 2-3 2-3	☎3471-4667
ふたばとしょかん 二葉図書館	ふたば 二葉 1-4-2 5	☎3782-2036
えぼらとしょかん 荏原図書館	なかのぶ 中延 1-9-1 5	☎3784-2557
みなみおおいとしょかん 南大井図書館	みなみおおい 南大井 3-7-1 3	☎3761-6780
げんじまえとしょかん 源氏前図書館	なかのぶ 中延 4-1 4-1 7	☎3781-6273
ゆたかとしょかん ゆたか図書館	ゆたかちよう 豊町 1-1 7-7	☎3785-6677
おおいとしょかん 大井図書館	おおい 大井 5-1 9-1 4	☎3777-7151
ごたんだとしょかん 五反田図書館	にしごたんだ 西五反田 6-5-1	☎3492-2131
おおさきとしょかん 大崎図書館	おおさき 大崎 2-4-8	☎3495-0660
やしおとしょかん 八潮図書館	やしお 八潮 5-1 0-2 7	☎3799-1414

^{きゅうかんび}休館日、^{かいかんじかん}開館時間などは、^{かくとしょかん}各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、^{ひょうしえししよう}各出版社の^{かくしゅつばんしや}許諾を得ています。

2016 . 10発行



よんでみたいな！

^{ねんせい}3・4年生



^{くろべ}黒部の^{たに}谷の^{でんしや}トロッコ電車

^{よこみぞ}横溝 ^{えいち}英一 ^{ぶん}文・^え絵

^{ふくいんかんしよてん}福音館書店

しながわくりつとしょかん
品川区立図書館

『ねこの風つくり工場』



みずの よしえ 作 いづの かじ 絵

偕成社

町の大通りを少しはなれた小高い場所にある工場。一日じゅう、いそがしそうに音をたててつくっているのは、この町をふきわたる「風」でした。

この工場ではたらいっているのは、町のねこたち。

ねこたちが、どんなしごとをしているのか、のぞいてみましょう。

『電車でノリノリ』

新井 けいこ 作 たかおか ゆみこ 絵

文研出版

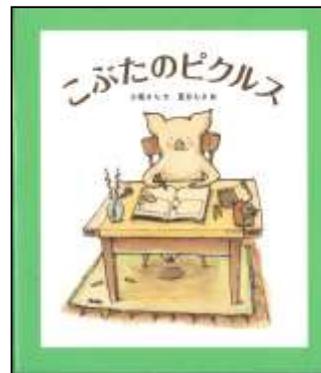
社会科見学で乃里と同じ班になった、はるちゃん、咲ちゃん、ユージくん、智樹くんの四人は、みんな電車オタク。四人と一緒にいるのを嫌がっていた乃里も、電車に興味をもっていきます。

ところが、みんなと仲良くなったある日、乃里はつい「鉄道なんかきらい」と言ってしまう。



『こぶたのピクルス』

小風 さち 文 夏目 ちさ 絵
福音館書店



ピクルスは元気な男の子。わすれ物がないことをかくにんして、学校へむかいます。途中で牛乳屋さんやパン屋さん、新聞屋さんから、それぞれのわすれものをあずかります。ピクルスは、わすれ物をぶじにとどけるのですが…。

ピクルスのかわいいお話が、4つっています。

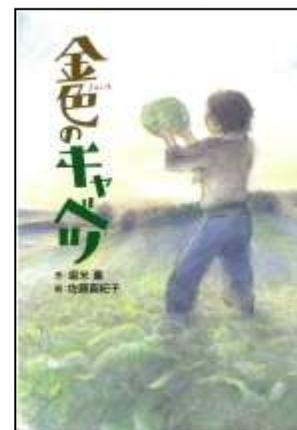
『金色のキャベツ』

堀米 薫 作 佐藤 まきこ 絵

そうえん社

塾の夏期講習、英語の検定試験、ピアノの発表会。風香は、楽しみにしていた夏休みが、スケジュールでいっぱい、三日間しか自分の時間を作ることができません。

そこで、キャベツ畑をしておじさんの所へ、家族に内緒で向かいます。



『トヤのひっこし』

イチンノロブ・ガンバートル 文 津田 紀子 訳
バーサンスレン・ボロルマー 絵 福音館書店



はるのおわり、トヤのいえはひっこしです。らくだのせなかに、ゲルやどうぐ、ふく、たべものをのせ、モンゴルのだいちをすすむのです。

トヤは、かぞくやひつじたちと、ひろいさばくをこえて、みずやくさのある、あたらしいばしょへとむかいます。

『ぜんぶわかる！カイコ』

新開 孝 著 伴野 豊 監修
ポプラ社

冬のあいだ、カイコはたまごですごし、5月になるとうまれます。幼虫はやがてまゆをつくり、まゆのなかで成虫になります。まゆからは、きぬ糸を作ることができます。

カイコの一生のことや、カイコを自分で育てる方法がわかります。



『2分の1成人式』

井上 林子 著 新井 陽次郎 絵
講談社



四年生のユメは、「魔法少女マリン」が大好き。夢は、マリンのようになること。でも、友だちには秘密にしています。学校で、「2分の1成人式」のための文集を作ることになり、将来について考えることになったユメ。自分の夢に、自信をもつことができるのでしょうか。

『カエサルくんと本のおはなし』

いけがみ しゅんいち 文 せきぐち よしみ 絵
福音館書店

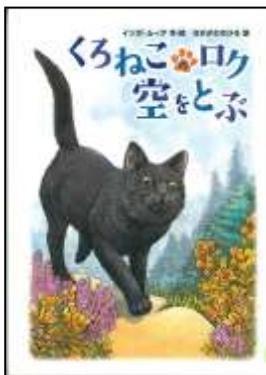
しょうたが、図書室で本を選んでみると、本の中から小さなおじさんが出てきました。その人はなんと、ローマの将軍カエサル。今の本の形を考えたのは自分だと言います。

カエサルは、紙のなかった大昔のことから、本について、はなしはじめました。



『くろねこのロク ^{そら}空をとぶ』

インガ・ムーア ^{さく}作・^え絵 ^{なか}がわ ^ちひろ ^{やく}訳
徳間書店



くろねこのロクは、くいしんぼう。まいにち穴けんの家で、ごはんをもらっています。

夏休み、ロクはかいぬしたちと、いなかへ旅行に出かけました。

森で出会った野生の大きなねこ、スコットの案内で、美しい自然の中を大冒険します。

『ぼくの先生は東京湾』

中村 征夫 ^{しゃ}写真・^{ぶん}文
フレーベル館



多くの人達が暮らす大都会、東京。東京湾は昔、水がよごれ「死の海」ともよばれていました。

でも、今の東京湾には、マコガレイ・クルマエビ・コウイカなど、たくさんの生き物たちが暮らしています。

私たち人間も、東京湾から命をもらっています。

『黒部の谷のトロッコ電車』

横溝 英一 ^{ぶん}文・^え絵
福音館書店



夏でも雪が残る北アルプスの黒部峡谷には、トロッコ電車が走ります。

小さなトロッコ電車ですが、13輛の客車を連結して、おおぜいの人やたくさん荷物はこびます。

でも、11月のすえになると、トロッコ電車は雪にそなえ、運転を中止。そして、5月になるまで、出発をまちます。

『森のプレゼント』

ローラ・インガルス・ワイルダー ^{さく}作 ^{あん}の ^{みつ}まき ^え光雅 ^{やく}絵・^{やく}訳
朝日出版社

ローラとメアリー姉妹の家は、クリスマスパーティーの準備でおおいそがし。いとこたちが、とまりにくるのです。

おいしそうなごちそうや楽しみにしていたプレゼント。

寒い冬に、みんなで過ごす、楽しいクリスマスのお話です。

